

**参考2. 事例調査資料**



## 参考2. 事例調査資料

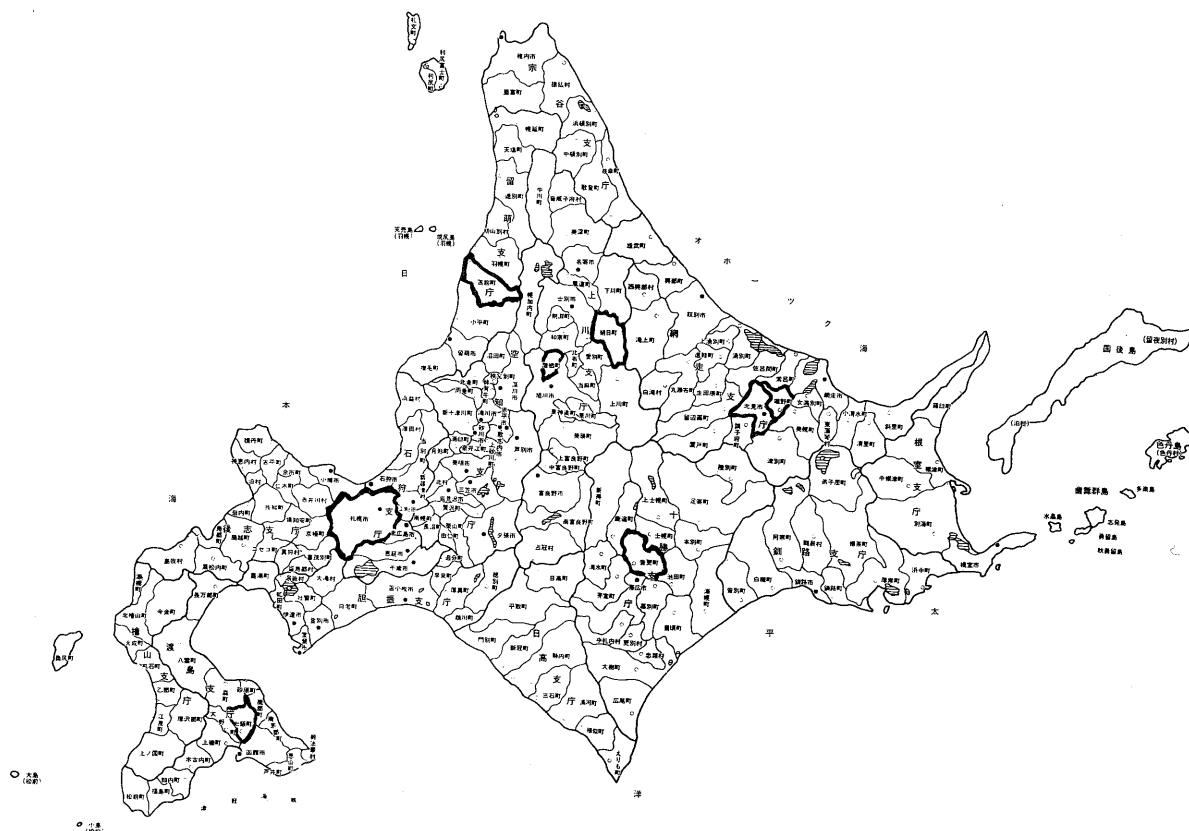
今回実施したヒアリング調査にもとづき、対象となったネットワーク活動 5 事例について、その概要を取りまとめたものが、次ページ以降の表である。

活動の概要には、それぞれ設立年、活動している地域、ジャンル、設立の経緯・目的、事業内容、加盟機関数、加盟機関属性、活動経費、公的支援の有無、事務局名を記した。

調査の対象としたネットワーク活動 5 事例は下記のとおり。

ネットワーク活動名	調査先ホール名／連絡先
1. シアターネットかんげき	音更町文化センター(音更町文化事業協会) 北海道河東郡音更町木野西通 15-8 tel. 0155-31-5215, fax. 0155-31-5229
2. 富山県公立文化施設協議会 (富山県文化ホールネットワーク公演事業)	富山県民会館(財団法人富山県文化振興財団) 富山県富山市新総曲輪 4-18 tel. 0764-32-3111, fax. 0764-32-2024
3. 類似ホール企画連絡会議	京都コンサートホール(財団法人京都市音楽芸術振興財団) 京都府京都市左京区下鴨半木町 1-26 tel. 075-711-2296, fax. 075-711-2955
4. 南河内文化会館連絡協議会	大阪狭山市文化会館(財団法人大阪狭山市文化振興事業団) 大阪府大阪狭山市狭山 1-875-1 tel. 0723-65-8700, fax. 0723-65-6700
5. C-WAVEネットワーク協議会	門川町総合文化会館(財団法人門川ふるさと文化財団) 宮崎県東臼杵郡門川町南町 1140-8 tel. 0982-63-0002, fax. 0982-63-5048

## シアターネットかんげき



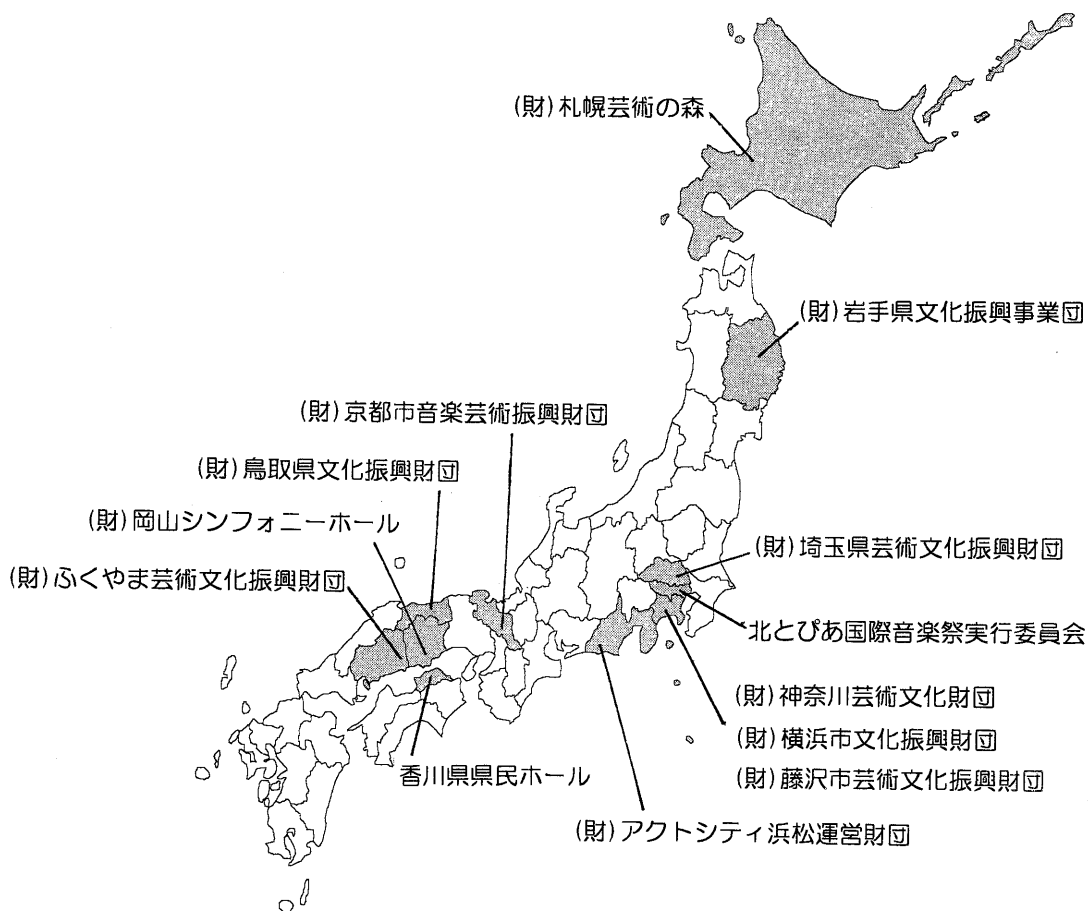
設立年	平成8年10月
地域	北海道
ジャンル	演劇
設立の経緯・目的	<p>北海道地区は、全国公立文化施設協議会の区分けで4ブロックに分かれている。東京との距離的な問題があり、単独館で劇団を招聘することは特に予算的な面で難しく、この課題を解決するためにネットワークを組むことに至った。</p> <p>従って、自主事業を行なっていて、ほぼ同じ環境で事業を始められる劇場に参加を呼びかけた。ジャンルを演劇に限定し、演劇による人づくりや街づくりを目指している。演劇を見ることによって何か感じるものがあること、そのような体験の積み重ねを重視している。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 演劇公演の定期的な共同開催</li> <li>● 演劇情報の調査および公演の企画、交渉</li> <li>● 観客づくりおよび演劇によるまちづくり(地域での演劇創造活動支援)</li> <li>● 観客と鑑賞団体の支援</li> </ul>
加盟機関数	7団体
加盟機関属性	公立文化施設の運営団体及び地方公共団体 芸術文化を支援する民間団体
活動経費	年会費   20,000円 / 1団体、事業費   負担金はホールの規模ごとに異なる
公的助成	(財)北海道文化財団、(財)地域創造、文化庁、北海道など
事務局	財団法人北海道演劇財団

## 富山県公立文化施設協議会(富山県文化ホールネットワーク公演事業)



設立年	富山県公立文化施設協議会:昭和41年   富山県文化ホールネットワーク公演事業:平成8年
地域	富山県
ジャンル	音楽・舞踊・演劇、伝統芸能等、総合 県民の文化意識高揚、地域文化の再発見・創造に資するもの
設立の経緯・目的	富山県内のほとんどの市町村が富山市内より1時間圏内に立地する地理的特徴や、近年の公立ホールの建設増加に伴い、課題となっている県下ホールの利用率低下への対応策として、富山県公立文化施設協議会加盟館同志のネットワーク化による公演の共同企画・制作等3つのホール活性化事業を実施。当事業を通じ、県民の芸術鑑賞機会の充実や、文化ホール相互の情報交換の促進、企画・運営能力の向上など文化ホールの活性化を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公演の共同開催(富山県文化ホールネットワーク公演事業) <ul style="list-style-type: none"> <li>H8年度・オーケストラ・アンサンブル金沢によるネットワーク公演(4館) <ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱によるネットワーク公演「コーラスメッセージ in TOYAMA」(3館)</li> <li>・桐朋アカデミーオーケストラによるネットワーク公演(4館)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● インターネットを活用した情報提供</li> <li>● ホールサポーター養成共同研修会開催 等</li> </ul>
加盟機関数	32団体
加盟機関属性	富山県公立文化施設協議会加盟ホール
年会費	年額 15,000円/1団体   インターネットホームページ維持費 20,000円/1団体
事業費	4,400万円   H8年度富山県文化ホールネットワーク公演事業:3事業・14公演
公的助成	1,386万円   H8年度富山県文化ホールネットワーク公演事業:富山県→県公文協→各ホール
事務局	財団法人富山県文化振興財団

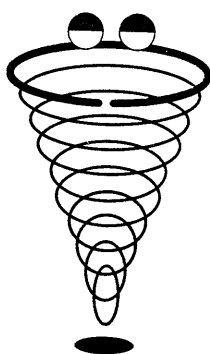
## 類似ホール企画連絡会議



### ※H9/7 第3回会議参加団体

設立年	平成8年7月
地域	全国
ジャンル	音楽
設立の目的	所在都市の人口規模(音楽ファン層の厚み)、客席規模、公演ジャンルの類似するホール同士での自主事業担当者レベルの情報交換からネットワーク公演の共同企画・制作を目指す
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報交換会の開催(過去3回開催)</li> <li>ネットワーク公演の共同企画・制作 「ノボシビルスク・フェスティバル」、「PMF オーケストラ公演」 「ベートーベン第九～シャンゼリゼ管弦楽団、コンチェルト・ボーカレ」(企画中)</li> </ul>
加盟機関数	13団体   H9/7 第3回会議出席
加盟機関属性	所在都市の人口規模(音楽ファン層の厚み)、客席規模、公演ジャンルの類似するホール
年会費	なし   会議運営費は持回り幹事ホールの負担
事業費	各公演毎に異なる(基本は公演ホール間で調整)
公的助成	現在のところなし
事務局	持回り

## 南河内文化会館連絡協議会(南文協)



1997

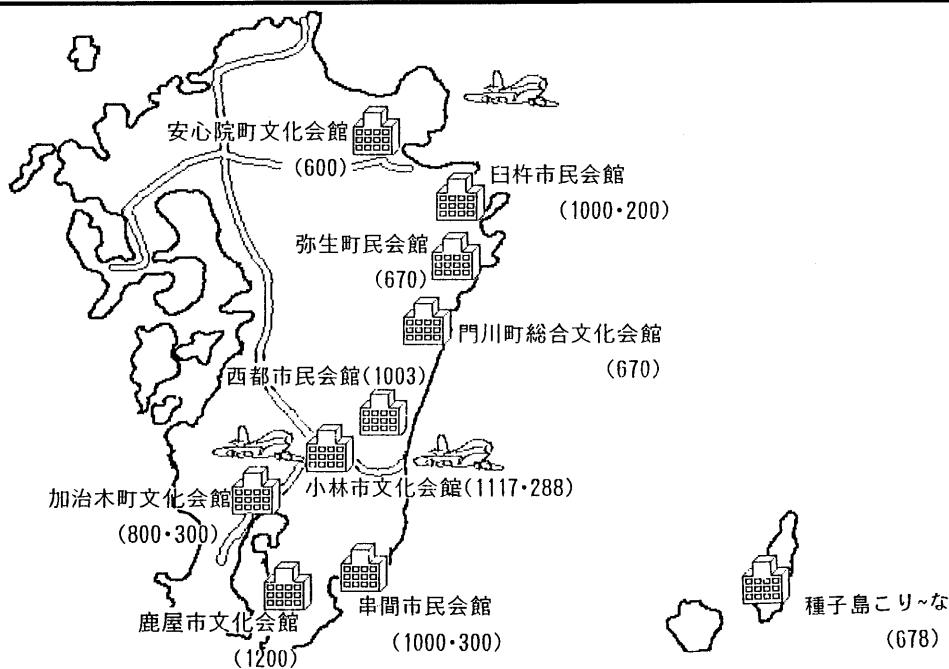
※シンボルマークの意味  
このシンボルマークには水面から広がる波紋が10あり、南河内の10市町村を表します。仲良く肩を組み合ってお互いに上昇しようという意味が込められています。



平成8年度「南河内歴史発見  
ショー」の開催会場地図。  
平成9年度には美原町(役場  
別館3階)も加わり8会場で開  
催された。

設立年	平成4年4月
地域	大阪府南河内地域
ジャンル	特に限定なし
設立の経緯・目的	昭和55年に南河内地域広域行政推進協議会(南広協)を設立し、圏域発展の指針ともなる南河内地域広域圏計画を策定。その後、平成2年に第二次広域行政圏計画において圏域の将来像を「豊かな自然と歴史の中で、新しい都市文化が息づく“ふれあい創造の郷”みなみかわち」と設定。その施策目標のひとつとして大阪都市圏にありながら大都市にはない風格と魅力ある圏域を創造し、“ふれあい”をテーマとする生涯学習の推進と幅広い交流・情報発信の場として整備することを目指した。 これを受けて、平成3年に「ふれあいネットワーク計画(文化会館のネットワーク計画)」を策定し、既設館を含む文化会館等6館をネットワークさせることで、圏域全体の文化振興を目指すこととした。翌年、南河内文化会館連絡協議会の設立に至る。南河内地域における劇場・ホールの急増も背景にある。
事業内容	リレーイベント「南河内歴史発見ショー」の開催(平成5年度より継続的に開催している) ——同一テーマで各館持ち回りのリレーイベント。各館、地元の歴史に関する講演会と演劇や伝統芸能などの公演がセットになっている。同イベント開催にともなう定例会議も実施。
加盟機関数	8団体(平成9年現在)
加盟機関属性	公共ホール
活動経費	年会費   各館 50,000円      リレーイベント参加経費   各館 900,000円
公的助成	財団法人大阪府市町村振興協会からの補助金を、参加各館個別に申請している。
事務局	大阪狭山市文化会館(SAYAKAホール)   大阪狭山市狭山 1-875-1, Tel.0723-65-8700

## C-WAVE ネットワーク協議会



設立年	平成5年4月
地域	東九州（大分県、宮崎県、鹿児島県）
ジャンル	特に限定なし
設立の目的	<p>地方のホールにおいては、地域コミュニティ・地域文化の中核としての役割を果たすべく住民参加の文化振興を目指しつつも、施設規模や人口面での制約、交通事情等のハンディにより、多大な費用負担がネックとなって事業企画が制限される。地方におけるこれからの文化振興のため、ネットワーク化による公演の低料金化、地方特色の重視・伝統芸能の支援等を行なうことで、各文化施設の重要性を高めたい。</p> <p>東九州各県に点在する中規模以下のホールが小さな力を寄せ合い、文化(Culture)を創造(Creation)し、伝達(Communication)する、うねる波(Wave)となるために、「C-WAVE ネットワーク協議会」を設立する。 (平成5年4月:設立趣意書より抜粋)</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域のステージづくりのための定例会議(年4回以上)</li> <li>● 総会及び研究会の開催</li> <li>● 公立文化施設等の先進地視察</li> <li>● 自主文化事業企画のための資料の収集及び情報交換</li> <li>● 関係機関に対する要望等</li> <li>● その他、C-WAVEの目的を達成するために必要な事業</li> </ul>
加盟機関数	10団体
加盟機関属性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国・都道府県・市町村立の公立文化施設(現状では全て市町村立)</li> <li>2) 音楽・演劇・舞踊・映画、その他文化的行事のための設備を有する施設 賛助会員) C-WAVEの趣旨に賛同し、会員相互において等しくその資格を有すると認められる個人若しくは行政、民間出身者</li> </ol>
活動経費	年会費   各館 10,000 円、 公演経費   各館負担。九州までの交通費を均等分担
公的助成	各館で個別に県内の助成金を申請。C-WAVEとしては(財)地域創造の助成金。
事務局	財団法人門川ふるさと文化財団   宮崎県東臼杵郡門川町南町 1140-8, Tel: 0982-63-0002